

今、若者たちへ

次世代に贈るメッセージ

若き日の「逆境」が最大の財産に

私は中学2年の時に父親を亡くしました。2人の弟がいて家計はきつかったですね。それで中学を出ると、働きながら、近所にあった定時制の高校に通いました。授業は午後6時から9時くらいまで。それから約1時間、柔道に励みました。冬のけいこは大変でした。畳が凍えるように冷たくて。家に帰ると、出始めたばかりのインストラクターメンで空腹を満たしました。そのおかげで生き永らえることができたと言ったら、少し大げさかな。日曜は昼まで寝ていました。そうしないと体がもたせませんでした。

そんな日々も昼と夜で2人分の人生が一度に体験できるのだからと、幸せな気分でした。余計なことを考える時間がないので、ささいなことでも悩んだり、迷ったりすることもなかったですね。「三つ子の魂百まで」ではありませんが、いまだに昼も夜も働いています。それが癖になってしまっていて、まるで苦にならないのです。

最高の製品づくりに挑み 世界を舞台に羽ばたいて

最大の財産になりました。

高校を出て食品関係の仕事をした後、機械の行商で全国を回りました。そこで中古パソコン台を改造したゲーム機と出合ったことが、アミューズメントの世界に足を踏み入れるきっかけになりました。当時はまだ食べていくことが最優先で、娯楽は二の次という時代です。同じ機械でも、あのころから普及し始めた自動販売機はお金を投入すると飲み物が出てくるのに対して、ゲーム機はお金を投入しても出てこず、腹の足しにはなりません。それなのに、みんな熱く買って、繰り返しお金を投入して遊んでいるのです。それを見て、「これはいける」と直感しました。日本もやがて衣食住が足りて、ゲーム産業が脚光を浴びる時代が必ずやって来ると。

仕事を成功に導く一番大事なポイントに着目です。「想」はアイデア。いくらでも浮かんでいきますよね。その中から、目先の損得ではなく、自分の力量に見合った分野に狙いを定めるプロセスが着想です。あとは決断し、変化に対応していくような創意工夫をする。コンピュータが何でも処理してくれる世の中になったとはいえず、この3つだけは人間にしかできないことだと思います。



定時制高校では柔道にも打ち込んだ(中央が辻本氏)

カプコン会長・CEO 辻本 憲三さん

「ストリートファイター」「モンスターハンター」など、人気ゲームソフトを次々に世に送り出し続けるカプコン。その創業者であり、代表取締役会長 最高経営責任者 (CEO) の辻本憲三氏は定時制高校卒業時の寄せ書きに「逆境とは誇り高きものなり」と書いた。家計を助けるため、働きながら勉学に励んだ日々。そんな青春時代を送った辻本会長が今の若者たちに伝えたいメッセージとは――。

会社というのは人を育てる「補給所」

少しへりくだった言い方をする、会社というのには人が育つていくための「補給所」なのです。私自身はいつもゼロから始めました。が、今の若い人たちは違います。カプコンには信用があり、人がいて、マーケットもあります。いろんな強みがそろっています。それをフルに活用すれば、自分のやりたいことができるはず。どんなに小さな分野でもいいから、「これが世の中で一番」と胸の張れる製品づくりにチャレンジしてほしい。そうすれば、必ず道は開けるし、人生が変わると思います。何よりも、日本という狭い殻に閉じこもらず、世界を舞台に羽ばたいてやろうという気概を持ってもらいたいものです。

企画・制作
日本経済新聞社クロスメディア営業局



感性開発企業がめざすもの。

私たちはゲームというエンターテインメントを通じて「遊文化」をクリエイし、多くの人に「感動」を与える感性開発企業です。

いまやゲームコンテンツは世界中で多くの人々に生まれ、オンラインゲームで遠く離れた人と一しょにプレイすることも日常的になりました。さらにゲームコンテンツはクリエイティビティの高いメディア芸術作品にもなり、映画やアニメなどに幅広く活用されています。

こうした時代において、私たちカプコンが担う使命は、オリジナリティあふれるコンテンツを創出し続けることです。

いままでも、そしてこれからも、世界有数の開発力を強みとして、世界にたったひとつの感動を発信していきます。



証券コード：9697 東証・大証1部

株式会社カプコン

カプコン

検索

〒540-0037 大阪市中央区内野町三丁目1番3号
TEL:06-6920-3600 FAX:06-6920-5100

<http://www.capcom.co.jp/>